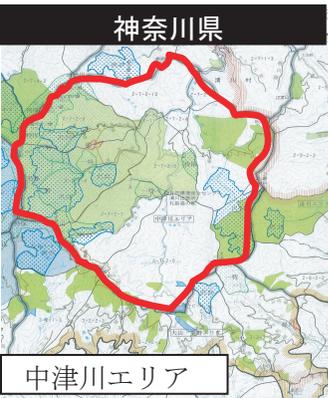


丹沢大山保全緊急対策



検討委員会 中間結果概要

～シカの影響による林内表面
土壌侵食対策の検討～



清川村堂平

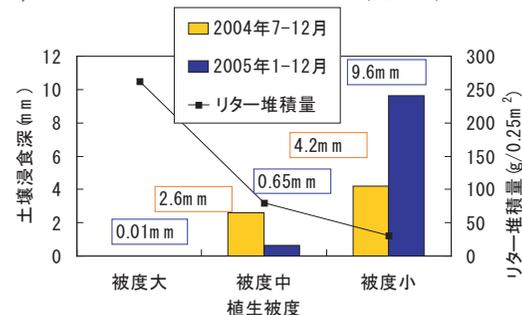
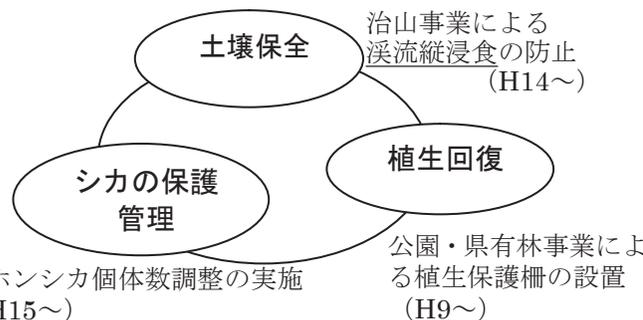
委員会の目的

清川村堂平における林内傾斜地の表面土壌侵食に緊急に対応する土壌保全手法の改良・開発及びその手法を含んだ総合的な流域保全推進モデルとその策定手順書を提案する。

取組みの趣旨 ～なぜ土壌保全か～

(1) 中津川エリア（保全再生重点区域）における従来の丹沢大山保全対策

特別保護地区内の植生回復及び多彩な森林づくりによる生態系保全環境収容力の増進とシカの保護管理の一体的推進による生物多様性の保全。



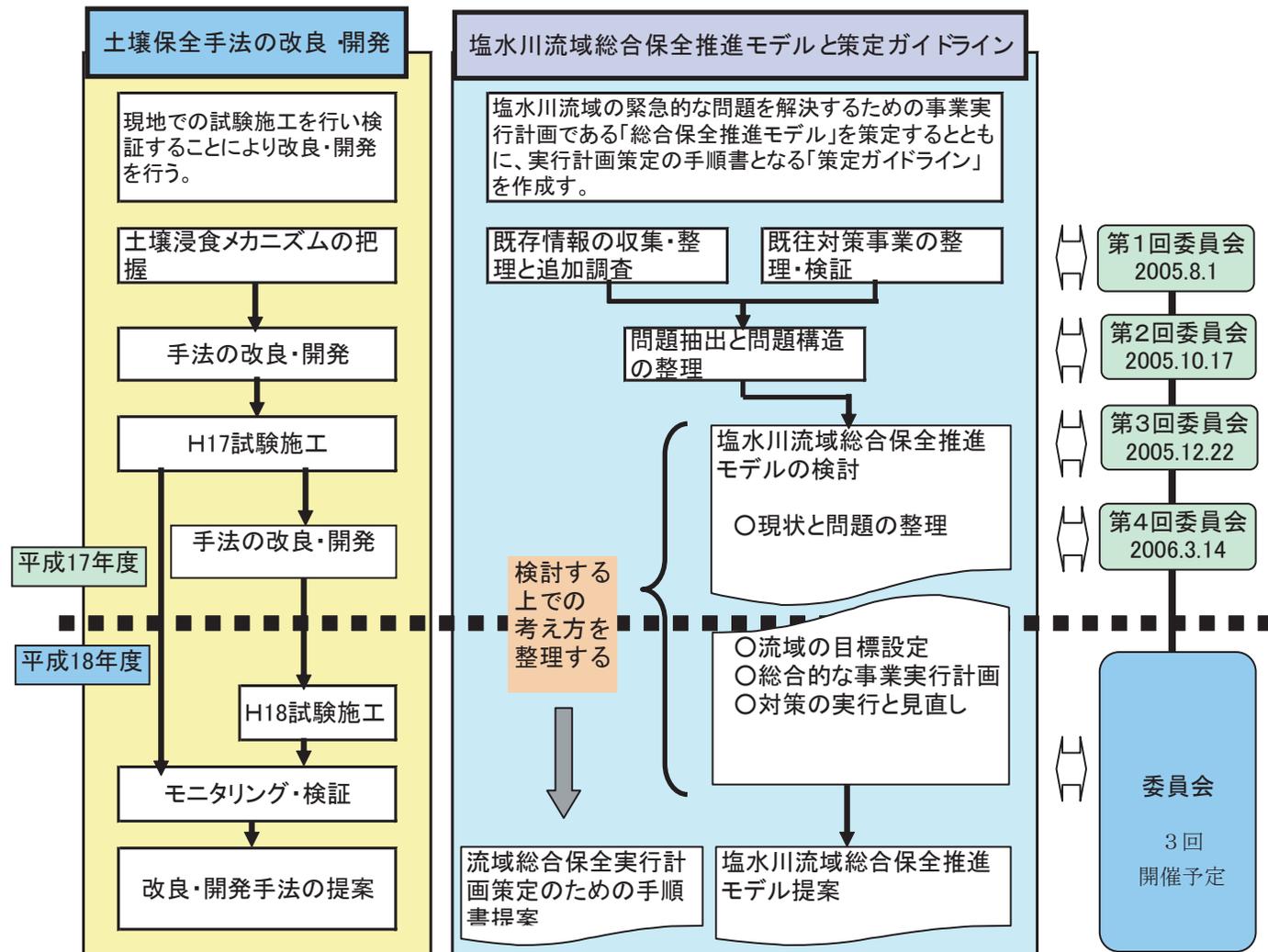
現行植生保護柵の増設の限界

- ・構造上の問題（急傾斜地で困難）
- ・維持管理の問題（大規模は破損リスク大）
- ・占有面積拡大による問題（生息地分断）
- ・植生回復効果の即効性に対する問題

本委員会の検討課題

- (1) 環境負荷の小さい土壌保全技術の改良・開発
- (2) 土壌保全対策を組み込んだ統合的な事業実施のための流域総合保全推進モデル
- (3) 上記モデルの策定の考え方（手順書）

検討のすすめ方



委員会の構成

	氏名	所属 役職
専門委員	鈴木雅一	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 (水と土再生TL)【森林・水・土部門】
	石川芳治	東京農工大学大学院共生科学技術研究部 教授 (水・土GL-水と土再生T)【土木・土壌部門】
	羽山伸一	日本獣医畜産大学 助教授 (政策検討WGL)【自然再生事業部門】
	富村周平	株式会社富村環境事務所 代表取締役 (山のなりわい複合戦略GL-地域再生T)【森林部門】
	伊藤雅道	横浜国立大学大学院環境情報研究院 助教授 (シカ影響調査GL-生きもの再生T)【シカ影響部門】
NPO団体	中村道也	NPO法人丹沢自然保護協会 理事長
	池野 正	丹沢大山ボランティアネットワーク 世話人代表
オブザーバー		環境農政部緑政課
		環境農政部森林課
		県央地域県政総合センター農政部森林課
		自然環境保全センター県有林部
事務局		自然環境保全センター自然保護公園部
		自然環境保全センター アジア航測株式会社